

報告事項 9

令和3年1月15日 第5回式典専門委員会決定事項

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 炬火台、炬火トーチデザイン最優秀賞等

1 応募状況について

(1) 募集期間：令和2(2020)年7月31日(金)～10月31日(土)

(2) 応募作品数

	作品数	内 訳
炬火台	126	園児1点、小学生9点、中学生20点、高校生43点、 大学・専門学生16点、一般37点
炬火トーチ	155	小学生17点、中学生39点、高校生40点、大学・専 門学生24点、一般35点

2 デザイン選定委員会における最優秀賞候補作品の選定について

(1) 1次(書面)審査：各委員3点以内の最優秀候補作品を選定

：期間 令和2(2020)年11月11日(水)～24日(火)

(2) 2次審査：1次審査通過作品の中から、最優秀賞候補作品各3点を選定

：開催日 令和2(2020)年12月17日(金)

3 式典専門委員会における最優秀賞選定について

最優秀賞候補作品から最優秀賞を選定(ほかの各2点は優秀賞)

4 最優秀賞及び優秀賞について

(1) 炬火台

賞		受賞者	職業
最優秀賞		田口 義尚	デザイナー(株式会社みやもと)
優秀賞	作品1	本人希望により非公表	
	作品2	本人希望により非公表	

(2) 炬火トーチ

賞		受賞者	職業
最優秀賞		伴印刷株式会社 新保 怜奈	デザイナー
優秀賞	作品1	松尾 怜奈	大学生(東洋大学3年)
	作品2	戸室 多美子	学校職員

5 最優秀賞について

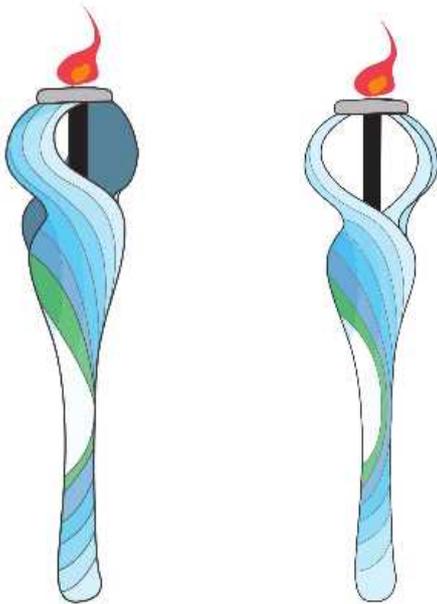
炬火台



【受賞者デザイン解説】

- ・大谷石と赤いガラスでいちご型に組み上げた。
- ・炬火がともることで、燃えさかるいちごが完成する。
- ・選手たちの大会に向けた熱く強い願いや思いを、栃木らしさを交えつつ表現した。

炬火トーチ



【受賞者デザイン解説】

- ・緩やかなカーブで描かれた形は、栃木に流れる鬼怒川、那珂川、田川、荒川、思川の流れをイメージし、緑のラインは、栃木の自然を表現している。
- ・選手たちの一人一人のエネルギーを湾曲した線で表現した。

6 優秀賞について

炬火台

<p>作品 1</p>		<p>【受賞者デザイン解説】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栃木県の豊かで雄大な自然をイメージ ・栃の葉に彩られた中禅寺湖を県鳥オオルリが羽ばたき、アスリートたちも未来に向かって羽ばたいて欲しいという願いを込めた。
<p>作品 2</p>		<p>【受賞者デザイン解説】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県特産のいちごをイメージした。 ・いちごを前面に押し出し、この国体で本県の魅力を全国に強く印象づけ記憶に残すことを考え、かなりインパクトのあるデザインを試みた。

炬火トーチ

<p>作品 1</p>		<p>【受賞者デザイン解説】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県鳥のオオルリをモチーフとして、今はまだ小さな子どもの鳥でも精一杯つばさを広げて夢の舞台へ羽ばたいて欲しいという思いからデザインした。
<p>作品 2</p>		<p>【受賞者デザイン解説】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県を象徴するいちごをモチーフとした。 ・大人も子どもも親しめるように、県内の伝統工芸である「竹工芸」からイメージ ・柄の部分は TOCHIGI の頭文字「T」を彫刻

7 今後のスケジュール

令和 3 (2021) 年	3 月下旬	表彰
	4 月以降	炬火台実施設計、炬火台座デザイン ミニ炬火台、炬火トーチ試作
令和 4 (2022) 年	3 月	ミニ炬火台、炬火トーチを市町へ配布
	4 月以降	市町炬火イベント、炬火台製作